



ThemisStruct
テミストラクト

認証標準技術の必要性と最新動向

株式会社オージス総研
事業開発本部 テミストラクトソリューション部

篠原 奨

なぜ標準技術を使うのか？

標準技術を使うメリット

□ セキュリティ向上

- 標準技術は脆弱性に関する考慮がなされているため安全に利用できる
 - 独自実装を行う場合、実装に脆弱性がないことを担保するのは難易度が高く、コストもかかる
- 標準技術は危殆化したら対策が取られるため、継続的に安全性を確保できる
 - 脆弱性が発覚した場合には追加仕様や次バージョンが策定される等の対策が取られることが多いため、常に安全な状態で利用できる

標準技術を使うメリット

□ 相互接続性の向上

- インターフェース仕様が固まっているためアプリケーション間の接続を容易に行うことができる
 - アプリケーションが標準技術通りに実装されていればアプリケーション間でのすり合わせが最小限で済む
 - サービスの利用、パッケージ製品の導入・連携も容易に行える
- アプリケーション・認証基盤のリプレースが容易に行える
 - 独自実装アプリケーションとの連携が存在する場合、リプレース時に独自実装を引き継がなければいけない負の連鎖に陥りやすいので注意が必要

標準技術を使うメリット

□ 開発工数の削減

- インターフェース・動作仕様が固まっているので設計・検討時間を短縮できる
- 既存ライブラリが存在する場合、利用することで開発工数・バグ混入率の低減を図ることができる

**だが、漠然と標準技術を利用していればメリットを
享受できるわけではない**

標準技術選定時の考慮点

□ 用途に沿った技術を選択することが重要である

- 誤った用途で標準技術を利用すると、おもわぬ脆弱性を生む可能性がある

➤ 例：OAuth認証

- API認可に利用すべき「OAuth」をアプリケーション間の認証連携（シームレスな連携）に利用すると、脆弱性が発生するケースがある
- この資料にご興味をお持ちいただけましたら、是非ダウンロードをお申込みください。**

一度お申込みいただくと、ThemisStructに関連した掲載資料をすべてダウンロードいただけます。

お申込み